



明治
150年
京都

京都市では、明治改元から満150年の節目に当たる今年、明治の京都の先人の取組とその意義を、市民ぐるみで見直し、今と未来に活かすことを目指す「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト～市民の偉業が生んだ奇跡、歩んだ軌跡～」を実施しています。

明治150 京都 検索

京都学講座「京都で生まれましてん」申込方法

京都学講座「京都で生まれましてん」は、京カレッジの講座の一つです。

基本講座10回と実地講座の受講を希望する場合は、「京カレッジ生」としてお申込みが必要です。

京カレッジについて

「京（みやこ）カレッジ」とは、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業です。大学の正規科目が受講できるほか、「市民教養講座」といった大学の公開講座など270を超える科目・講座を提供しています。詳しくは「京（みやこ）カレッジ生募集ガイド」または下記の京（みやこ）カレッジホームページをご覧ください。

資料請求及び申込方法

申込上の注意 2018年度は「午前コース」、「午後コース」の各定員を250名です。どちらも同じ講義内容です。各コースとも定員を超過した場合は抽選で受講者を決定します。なお、出願後の希望コースの変更や、コース決定後に別コースの受講はできませんのでご注意ください。

受講料 10,000円（基本講座10回）

※実地講座は別途費用が必要です。

申込方法 「京（みやこ）カレッジ生募集ガイド」（3月上旬配布開始）に添付の出願票でお申し込みください。

募集ガイド請求方法について

以下の配布先で入手できます。また、郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、電話番号を、メール、郵便はがき、FAX、もしくはホームページの請求フォームにて、大学コンソーシアム京都へお知らせください。

◇募集ガイド配布先

キャンパスプラザ京都、京都市役所・区役所・支所・京都市の図書館等で配布予定

提出書類・提出期間等について

◇提出書類：①出願票1部

②京（みやこ）カレッジ会員証用顔写真（縦3cm×横3cm）1枚 ※募集ガイドに同封の出願票提出確認シートに貼付してください

◇提出期間：《郵送》2018年3月6日（火）～17日（土）必着

《持参》3月16日（金）・17日（土）10：00～16：00

◇提出先：《郵送》大学コンソーシアム京都 京（みやこ）カレッジ担当
《持参》キャンパスプラザ京都

注 記

- ①申込方法の詳細や注意事項は「京（みやこ）カレッジ生募集ガイド」にてご確認ください。
- ②受講可否の連絡は4月末迄に郵送いたします。
- ③受講可否についてのお問い合わせはご遠慮ください。
- ④一旦ご入金いただいた受講料・参加費は返金いたしません。ご了承ください。
- ⑤大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生（ただし大学院・通信教育課程生等を除く）および、放送大学京都学習センター全科履修生は基本講座の受講料は無料です。学生証のコピーを出願票に必ず添付してください。

1回ごとの受講について

各講義1回ごとの受講はできません。ただし、大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生は基本講座について1回ごとの受講が可能です。下記をご覧ください。

大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生は基本講座の1回毎の受講が可能です（無料）

「加盟校正規学生」とは大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生（ただし大学院・通信教育課程生等を除く）および放送大学京都学習センター全科履修生です。1回ごとの受講をする場合は、希望する講座（実地講座以外）の日時に直接会場へお越しの上、受付で学生証を提示してください。受講料は無料です。会場定員を満たした場合等、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。実地講座への申込みは京カレッジ生として、基本講座に申込み必要がありますので、学生証のコピーを必ず添付して、左記の申込方法にて期間内に出席をしてください。

お問い合わせ・資料請求先



大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

京カレッジ担当

お問合せ受付時間：9：00～17：00（日・月曜除く）

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都1階

TEL. 075-353-9140 FAX. 075-353-9121

E-Mail : miyakare@consortium.or.jp

<http://www.consortium.or.jp/>

京カレッジ

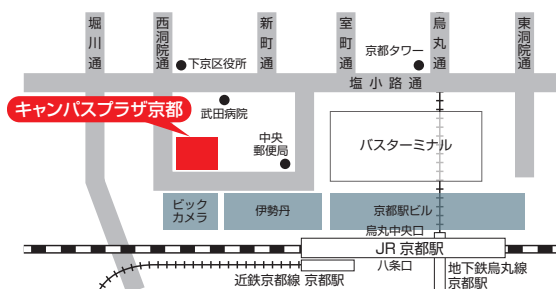
検索

個人情報の取り扱いについて

提供いただいた個人情報は「京カレッジ」に関する運営（諸連絡や募集ガイドの郵送等）で使用するもので、その他の目的で使用することはありません。



京都市
CITY OF KYOTO



京都市営地下鉄・JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度。
京カレッジの大学の講義や公開講座は主に大学キャンパスまたはキャンパスプラザ京都で開催されます。通学は市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用ください。

みやこ
京カレッジ

2018年度京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座

京都で生まれましてん

～みやこ発祥の文化～

開講
期間

2018年5月19日（土）～12月1日（土）基本講座10回

午前コース 10:00～11:30（受付 9:30～）

午後コース 12:30～14:00（受付12:00～）

定員
各250名

※各コースとも講義内容は同じです。2017年度より2コースとし定員を増やしています。

開講
会場

キャンパスプラザ京都
（4階第2講義室）

※開講記念講座・実地講座は、時間・会場が異なります。

開講記念講座 3/10（土）

「京を伝える女性たち～京都から世界への発信」

遠藤 奈美氏（KBS京都 アナウンサー）／海平 和氏（KBS京都 アナウンサー）
八木 透氏（佛教大学 歴史学部 教授）

第1回
5/19（土）

祇園祭の山鉾巡行
～「山・鉾・屋台行事」と京都～
橋本 章氏（京都文化博物館 学芸員）

第2回
6/2（土）

今西錦司 ～京都北山から未知の自然へ～
岩坪 五郎氏（京都大学学士山岳会々員、日本山岳会々員）
八木 透氏（佛教大学 歴史学部 教授）

第3回
6/23（土）

ブラジャーと京都
～伝統文化が息づく千年の都から、下着を通して根付いた洋装文化～
石関 亮氏（公益財団法人京都服飾文化研究財団 学芸課 課長／キュレーター）
春名 のぞみ氏（株式会社ワコール 広報・宣伝課 課長）

第4回
7/21（土）

「日本最初京都画学校」の絵画教育
～運筆・写生・模写～
田島 達也氏（京都市立芸術大学 美術学部 教授）

第5回
9/1（土）

小学校の誕生
～学校と地域社会の関係・図画教育と工芸の関係～
和崎 光太郎氏（京都市学校歴史博物館 学芸員）
森 光彦氏（京都市学校歴史博物館 学芸員）

実地講座1
7/14（土）

京都フォークを歴史的建造物・
五條会館で語る～豊田勇造氏の生演奏～
豊田 勇造氏（フォーク歌手・ブルース歌手、エッセイスト）
川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学部 教授）

※実地講座は別途お申込みと参加費が必要です。

明治
150年
京都



第6回
9/29（土）

歌舞伎の誕生と京都
齊藤 利彦氏（佛教大学 歴史学部 准教授）

第7回
10/13（土）

漫画とアニメーション（鳥獣戯画から）
～なぜ京都に国際マンガミュージアムができたのか～
吉村 和真氏（京都精華大学 国際マンガ研究センター 教授）

第8回
10/27（土）

フォークの出発点を語る
～1960年代京都フォークと若者文化～
豊田 勇造氏（フォーク歌手・ブルース歌手、エッセイスト）
川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学部 教授）

第9回
11/17（土）

茶の湯のはじまり
～書院の茶から草庵の茶へ～
山岡 宗儋氏（茶道速水流 教授）

第10回
12/1（土）

京料理の源流と創作平安王朝料理
堀場 弘之氏（京料理 六盛 会長）

実地講座2
12/8（土）

京料理と手をけ弁当
～創作平安王朝料理を添えて～
堀場 弘之氏（京料理 六盛 会長）
小林 一彦氏（京都産業大学 教授、日本文化研究所 所長）

京都は長きにわたって都であったこともあり、悠久の時の中で、さまざまなモノや文化を生み出してきました。京都で生まれたものは、古くは祇園祭に代表される風流の文化や茶の湯から、近年のフォークソングや女性下着としてのブラジャーに至るまで、きわめて多種多様です。本年度は、京都生まれにトコトンこだわった講座を展開します。例年に増して多彩な講師陣を招き、それぞれのモノや文化がどのようにして京都で誕生し、それらが如何にして全国へ伝えられていったのか、受講生の皆さんといっしょに考えてみたいと思います。



大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto



「京都で生まれましてん」 開講記念講座

2018年度京カレッジおよび京都学講座の開講記念講座を実施します。

■日 時 2018年3月10日(土)
10:30～12:00(開場10:00)

「京を伝える女性たち」 ～京都から世界への発信～

KBS京都で活躍されているお二人の女性アナウンサーを招いて、京都にある放送局のアナウンサーとしての苦労・喜び・心がけていることなどもお話しいただきながら、京都発祥の文化について八木透教授と対談していただきます。

■講 師



えん どう な み
遠藤 奈美氏 (KBS京都 アナウンサー)

2006年 KBS京都入社。
大阪外国語大学スペイン語学科卒業。
小学1年生から9年間アメリカジョージア州で育った帰国子女。
趣味はランニング(京都マラソン完走)。
KBS京都テレビ『京bizX』、同ラジオ『チキチキ遠藤Nami乗りジョニー』など、担当多数。



うみ ひら なこみ
海平 和氏 (KBS京都 アナウンサー)

2010年 KBS京都入社。
同志社大学経済学部卒業。
京都生まれ京都有ち。
趣味は3歳から続けているクラシックバレエ。
KBS京都テレビ『newsフェイス』『京スポ』、同ラジオ『なごみのはんなり京めぐり』など、担当多数。



八木 透氏 (佛教大学 歴史学部 教授)

同志社大学文学部卒。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。博士(文学)。専門は民俗学。著書『京のまつりと祈り みやこの四季をめぐる民俗』(昭和堂)、他多数。祇園祭綾傘鉦保存会理事なども務める。大学コンソーシアム京都 京都学企画検討委員長。

■場 所 キャンパスプラザ京都(4階第2講義室)

■参加費 開講記念講座は **入場無料**

■定 員 **250名(事前申込)** ※応募多数の場合は抽選

■申込方法

往復はがきにて下記のように記載の上、**2018年2月23日(金) 必着**にてお申込みください。
結果は返信はがきにて2018年3月2日(金) 発送予定でご連絡します。

往信(表面)	返信(裏面)	返信(表面)	往信(裏面)

記載不備の場合や郵便往復はがき以外の応募、また1名1通でないものや料金不足(2017年6月1日より郵便料金が変更されています)の場合は受付できませんのでご了承ください。



第1回 5/19(土) 祇園祭の山鉦巡行 ～「山・鉦・屋台行事」と京都～

橋本 章氏 (京都文化博物館 学芸員)



京都祇園祭の山鉦行事は、全国32の山・鉦・屋台行事と共に、2016年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。中でも京都祇園祭の山鉦巡行は、日本中に展開する類似した祭礼行事の源流となったものとして認識されていますが、京都祇園祭に登場する山鉦は、構造物としては実は孤高の存在なのです。本講座では、山車祭礼の発祥の地としての京都の祇園祭の位置付けについて、諸国の祭礼との比較から検討してゆきます。

第2回 6/2(土) 今西錦司 ～京都北山から未知の自然へ～

岩坪 五郎氏 (京都大学学士山岳会々員、日本山岳会々員)
八木 透氏 (佛教大学 歴史学部 教授)

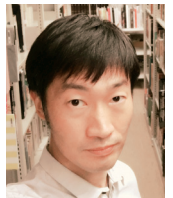


岩坪 五郎氏

今西錦司は明治35年(1902) 京都西陣で生まれ、京都一中で京都の北山登山のための組織を、三高、京大で日本アルプス初登攀のための組織を作り、昭和6年(1931) 5月ヒマラヤ初登頂を目的とするAACK(Academic Alpine Cub of Kyoto) 京都学士山岳会)を設立しました。今西の登山探検研究の歴史は、目標の策定と組織作りの弁証法的発展でありました。そこに彼のリーダーとしての優れた人格がみられます。今西はリーダーの条件として、人気、使命感、洞察力だと私たち後輩に語りました。

第3回 6/23(土) ブラジャーと京都 ～伝統文化が息づく千年の都から、 下着を通して根付いた洋装文化～

石関 亮氏 (公益財団法人京都服飾文化研究財団 学芸課 課長/キュレーター)
春名 のぞみ氏 (株式会社ワコール 広報・宣伝課 課長)



石関 亮氏



春名 のぞみ氏

戦後、ワコールは女性のファッションが和装(着物)から洋装(洋服)へと大きく変化する中、世の女性に美しくなって貰うことを理念とし、いち早く洋装下着を手掛け、日本の下着文化、洋装文化を創造し、根付かせました。そのワコールの歴史と京都との関係を紹介するとともに、ブラジャーをはじめとした下着の起源や西洋における歴史、ファッションとの関係を紐解きます。

第4回 7/21(土) 「日本最初京都画学校」の 絵画教育 ～運筆・写生・模写～

田島 達也氏 (京都市立芸術大学 美術学部 教授)



明治13年(1880)に開校した京都府画学校は日本最初の公立画学校で、今日の京都市立芸術大に至るまで140年近い歴史を刻んできました。師匠に弟子入りして学ぶ従来の絵画教育は、学校となって何が変わったのか。また明治・大正・昭和・平成という時代の移り変わりの中、芸術観の変化にどのように対応してきたのか。京都市立芸術大学芸術資料館にのこる資料や作品をもとに紹介していきます。

京都で生まれましてん ～みやこ発祥の文化～

基本講座10回

※両コースとも同じ内容
午前コース 10:00～11:30
午後コース 12:30～14:00
※実地講座は別途お申込みと参加費が必要です。
講座の内容は都合により一部変更することがあります。

第5回 9/1(土) 小学校の誕生 ～学校と地域社会の関係・図画教育と工芸の関係～

和崎 光太郎氏 (京都市学校歴史博物館 学芸員)

森 光彦氏 (京都市学校歴史博物館 学芸員)



和崎 光太郎氏



森 光彦氏

明治2年(1869)、日本で最初の学区制小学校である「番組小学校」が京都で誕生しました。室町時代以来の自治組織である町組を再編して誕生した「番組」を学区とした京都の番組小学校は、今に至るまで、地域の人たちがその運営に大きく尽力してきました。本講座では、このような歴史に由来する京都独自の、学校と地域の関係をお話します。また、工芸が盛んであった京都で小学校において行われた、独自の図画教育についても見ていきます。

第6回 9/29(土) 歌舞伎の誕生と京都

斉藤 利彦氏 (佛教大学 歴史学部 准教授)



時代がうねる激動の戦国末期、京都でひとつの芸能が誕生します。歌舞伎です。いたいけな女の子の踊りであるややこ踊りが、出雲の阿国の芸団によって、流行の最先端をいくかぶき者を模倣した歌舞伎踊りと進化します。やがて、男性のみの演劇へと昇華していき、江戸時代を代表する芸能となり、現在に至ります。本講座は歌舞伎の誕生とその大成の道筋を、出雲のお国などを中心に、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

第7回 10/13(土) 漫画とアニメーション(鳥獣戯画から) ～なぜ京都に国際マンガミュージアムができたのか～

吉村 和真氏 (京都精華大学 国際マンガ研究センター 教授)



「なぜ京都にマンガミュージアムを作ったのか」「わざわざ大学でマンガについて教える必要があるのか」と、立場上私はしばしば問われます。マンガの起源とも言われる鳥獣戯画が京都にあったから、ではありません。京都出身のマンガ家が特に多いわけでもありません。では、京都とマンガにはどのような関係があるのか。その問いについて、アニメにも視野を広げつつ、歴史的かつ現在的な観点から考察していきます。

第8回 10/27(土) フォークの出発点を語る ～1960年代京都フォークと若者文化～

豊田 勇造氏 (フォーク歌手・ブルース歌手、エッセイスト)

川島 智生氏 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)



豊田 勇造氏

1960年代京都で生まれた関西フォークは強いメッセージ性を帯びて、全国に伝播していきます。その活動は「帰って来たヨッパライ」のフォーククルセダーズに代表されますが、同時代の歌手豊田勇造は現在も歌手活動をおこなっており、しかも拠点となったライブハウス拾得を酒蔵から改造してつくりかえた当事者です。リアルタイムで体験した50年前のフォーク黎明期の誕生秘話を、酒蔵文化史研究者でもある川島智生が聞き出します。

第9回 11/17(土) 茶の湯のはじまり ～書院の茶から草庵の茶へ～

山岡 宗儋氏 (茶道速水流 教授)



茶の湯の風習は、鎌倉時代禅宗寺院を中心に行われ、室町時代に発展し、会所や寄合で行われました。足利義満の室町殿の会所では茶湯所という部屋があり、ここで茶を立て、座敷に運んでおり、遊興の場において茶が振る舞われました。そして書院の茶と呼ばれる茶の文化が広まりますが、その後、市中の山居を志向する村田珠光の草庵の茶へと移行していき、堺の町衆を経て、その弟子の千利休によって大成されます。

第10回 12/1(土) 京料理の源流と 創作平安王朝料理

堀場 弘之氏 (京料理 六盛 会長)



平安建都1200年を記念して、1994年に六盛三代目・堀場弘之は京料理の源ともいえる平安貴族の正餐を蘇らせました。食前酒の「薬酒(くすざけ)」に続く一進「祝菜(ほがいな)」には、中央に「御物(おももの)」と呼ばれるご飯を高く盛り付け、その周囲に金塗の器に彩られた「おまわり」(干肉(ほじし)・蒸鮑(むしあわび)など)が円周状に並びます。その後も、献立は十二進まで続きます。丹念な史実考証に基づいて創作・再現された「創作平安王朝料理」について、美しい写真とともに紹介します。

実地講座1 7/14(土) 京都フォークを歴史的建造物・ 五條会館で語る～豊田勇造氏の生演奏～

豊田 勇造氏 (フォーク歌手・ブルース歌手、エッセイスト)
川島 智生氏 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)

定員40名 参加費 3,000円 講座予定時間 13:00～15:00(現地集合・解散)



五條会館 ※会場はエアコン・エレベーターはありません。その他募集ガイドの注意事項をご覧ください。

五條会館は、京の花街のなかで大正4年(1915)建設の唯一完全な木造建築の歌舞練場であり、現在ほとんど公開されていない、いわば幻の建築でもあります。近代歌舞練場の原初的なイメージを色濃くとどめる2階の棧敷ホールで、歌手豊田勇造による特別ライブ「京を歌う」をおこないます。あわせて川島智生が五條会館を建築史の立場からその特質を解説します。

実地講座2 12/8(土) 京料理と手をけ弁当 ～創作平安王朝料理を添えて～

堀場 弘之氏 (京料理 六盛 会長)

小林 一彦氏 (京都産業大学 教授、日本文化研究所 所長)

定員60名 参加費 9,000円 講座予定時間 12:00～14:00(現地集合・解散)



(写真はイメージです)

明治32年(1898)に創業した六盛の誇る料理が、「手をけ弁当」です。この弁当には、重要無形文化財保持者・人間国宝の中川清司氏が作る白木の桶の内側に塗りをほどこした美しい手桶に、四季折々の食材が様々な味付けで盛り込まれています。今回の講座にあたって、創作平安王朝料理を施した「特別手をけ弁当」をご用意します。人間国宝の造る作品=器を手に取りながら、京料理をご堪能下さい。